

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 杉島組曲		公表日		令和7年 2月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・部屋を分けたり、活動の順番を決めて行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・宿題やクールダウン等に合わせた部屋を使用できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		参画はできているが時間の確保が難しい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・今年度中の作成に向けた情報収集中。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		把握できていないため未回答(1)		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			把握できていないため未回答(1)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		・時間の都合や療育の状況で出来ない場合は、事前に共有の情報ツールを用いて確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			把握できていないため未回答(1)
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			・担当者や看護師の同行を行い、情報共有を行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・長期休暇などで他の子どももお活動し、お互いに良いコミュニケーションが取れていると思われる。 ・利用児童の状況を見ても交流を集団で行うことが難しいため、少数で実施している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			・参加の機会があれば参加するよう心がけている。 把握できていないため未回答(1)
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		把握できていないため未回答(2)	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			把握できていないため未回答(1)	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		把握できていないため未回答(1)	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・きょうだい同士の交流は行っていないが、保護者会をテーマを決めて行っている。 把握できていないため未回答(1)	今年度、親子ふれあい行事をとして保護者や兄弟が参加し交流する場を設定できた。今後も交流できる場の設定が必要。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・苦情など早急な対応、スタッフの統一した対応が重要かと思われるので、体制を整えて備えておく。	・保護者からの一つ一つの意見を大切にし、その後意見に対し職員が情報を共有する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・広報誌やBANDでの様子の共有、長期休暇の事前の活動内容告知。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・SNS等での名前が分からないよう隠す、他の方の個人名を出さない等留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・働きだして間もない為わかりませんが、地域との交流は図れていると思います。(リサイクルや手土産など) ・昨年度よりSDG2の取り組みを通じて近所の方と交流を図ってきた。ご近所の方との距離感も近くなり、事業所の中を見ていただく機会も設定できた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		把握できていないため未回答(2) ・各マニュアル策定している。今年度、茶話会の際に保護者へ確認いただける機会を設定した。	・今後、BAND等を通じて周知する機会を設定する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		把握できていないため未回答(1) ・BCPを策定している。非常時に備え非常食の備蓄、児童への非常食の紹介や試食、訓練を実施している。	・不審者訓練の訓練方法に難しさを感じたため、アドバイザーへの相談も必要と感じている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・内服変更での副作用や、利用児童の日々の状態の変化など、しっかりと把握していきたい。 ・日々の支援の前にご家族や学校から情報をいただくことができています。今後も把握に努める。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		把握できていないため未回答(1)	安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。今年度、訓練や研修に参加できなかった職員もいたため全職員が研修・訓練に取り組めるよう計画する
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		把握できていないため未回答(1)	茶話会を通じて安全計画を見ていただく機会を設けた。契約時に説明を行っているが簡易的なものであるため、詳しい説明と連携を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・重大なヒヤリハットほど、利用児童個々により対応が違ってくると思うので、早急に色々な方策を検討していく。	ヒヤリハットの記録と再発防止に向けたミーティングを行っている。今後も重大な事故を起こさないための安全対策を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				